

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

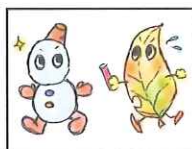
渡辺ハウジング
03-3959-8743



寒気が日増しに厳しくなり、気が付けば師走。
まさに「光陰矢の如し」の言葉通り、あっという間に1年が過ぎようとしています。

特に今年は、コロナ・ウイルスが大暴れしたため、お花見禁止から始まり、楽しみにしていた様々な行事が中止になったり、あるいは学校や会社における学習・勤務体制の変更を余儀なくされたり・・・と年末を迎えた今も、感染の収束が見られず不安な日々が続いています。

来年こそは穏やかな年でありますようにと願うばかりです。



さて、これからは大掃除をはじめ、年賀状や新年を迎える準備にお忙しいことと思いますが、無理をせずまずは健康で過ごすことを最優先にしましょう。

どうぞ、お体大切にお過ごしください！

家を建てる段取り（4）

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【いろいろな家を見てみよう】

モデルハウスを見るといえば、住宅展示場を思い浮かべますが、展示場の家は各社とも、最高級の仕様・設備で建てられていることが多く、あまり現実的ではないこともあります。

家のイメージや予算が未だはっきりしていない段階で、展示場のモデルハウスを見た為に、かえって考えがまとまらなくなった、ということも少なくありません。展示場へは、条件やイメージがはっきりまとまってから行く方が良いでしょう。



暮らしたい家のイメージができてきたら、次には実際にいろいろな家を見ることをお勧めします。

今の時代は、インターネットなどからたくさんの情報を手軽に集めることもできますし、時には、住宅街を歩いて、実際に人が住んでいる家を見るのも良いかもしれません。



また、住宅会社が現在建築している家や、お許しが出るのであれば、お引渡し済み、既に生活している家を見せてもらったり、あるいは見学会に参加したりすると良いでしょう。

図面や写真だけでなく、実際の家を見ると、「これが良い」というイメージがますます膨らんだり、更に新しいアイデアが浮かんだりするものです。

時間を作って是非、沢山の家に足を運んでみてください。描いている理想の家が身近になると思います。

次回に続く

「向かい干支」

「向かい干支」というのをご存知でしょうか？
向かい干支とは、十二支を円に並べた時に、自分の干支の向かい側・対角線にくる干支を指します。十二支には、それぞれ性質があると言われていますが、向かい干支は自分の干支とは正反対の性質をもっているため、自分には無いパワーを与えてくれる【守り干支】とも呼ばれています。

江戸時代より、向かい干支を大切にすると幸福が訪れると言われており、ラッキー・アイテムとされてきました。

又、人間同士の相性も同様で、向かい干支の人は、正反対の気質を持っているから相性が良く、深い縁（えにし）で結ばれると言います。

正反対だから相性が悪いという説もありますが、互いに無いものを補い、支え合うという発想をする方が、何事にも福を呼ぶような気がしませんか？



ちょっとした心遣いが嬉しい



今回も友人から聞いた話ですが、ちょっとした心遣いが嬉しく感じられるのは、こんな時かもしれませんね。

俺は、すぐに再就職ができると思っていたが、なかなか決まらずに、仕方なく親戚が支配人をしているファミレスで3ヵ月程アルバイトをすることになりました。



その時、たくさんの家族連れやカップルを見てきましたが、子どもの世話ってどの家族連れも母親がするものなんだ、ということに気が付いたのです。

温かい食事を運んでも、奥さんは先ず子どもに食べさせたりして、温かかった料理はどんどん冷めていく・・・



逆に、旦那さんは奥さんの料理が冷めようが、子どもが何をしようが、全くお構いなしに自分の分を平らげていく。

そして食べ終わると、子どもの世話をする人もいれば、そのまま携帯をチェックしたり、雑誌を読んだりする。

どっちにしても、温かい料理を食べられる奥さんというのは結構少ないようだ。

これって多分、家でも同じなんだろうな？

もし、俺に子どもができて、外で一緒に食事をする時は、俺も子どもの面倒を見てあげよう、嫁さんに温かい料理を食べさせてあげよう、そう思った。

それからしばらくして、俺は前より給料は安いものの、それなりに待遇の良い会社に再就職できたんです。

そして、子どもにも恵まれました。

ある日、3人でファミレスに食事に行った時、子どもの世話をする嫁さんと、目の前の料理を見てふと思い出した。

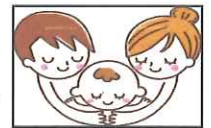
「ああ、俺もあの時の旦那と同じことしてる」

「俺が面倒みるから、お前、先に食えよ」
そう言うと嫁さんは驚いたような顔をした。家にいる時も、めったに子どもの面倒を見ることが無かったから当然だ。

嫁さんは、「悪いから・・・」と言ったが、「いいから、ほら」と、嫁の手から子ども用の小さなスプーンをとり、子どもに食べさせた。

嫁は、小さな声で「ありがとう」と言い、温かい料理を食べ始めたが、いつもより早口で食事を済ませ、すぐ俺と交替した。

俺の手から子供用のスプーンを受け取る時、「ありがとう・・・本当にありがとうね」と、何故か涙ぐんでいた。



俺の皿には冷めた料理が残っていたが、それでもその時は美味しく感じた。

このご家族の幸せが、ずっと続きますように！！

「編集後記」

今年は、これまでの習慣や価値観の変化を余儀なくされた1年と言えそうですが、不安な日々の中、過ごし方次第で暮らしの質が良くも悪くもなることを学んだ気がします。環境の変化を前向きにとらえ、常にいきいきと明るく暮らすことが大事だとあらためて思います。

さて、新しい年はどんな1年になるのでしょうか？
今年の方まで穏やかで幸せであってほしいと心から願います。

1年間お付き合いいただき、本当に有難うございました。
来年もどうぞよろしくお願いいたします。

少し早いですが、皆様、良いお年をお迎えください！

「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。
ご希望の方は、アドレスをお知らせください。



編集責任者 渡辺 田鶴子